

# I からだと心のケアに関する講座

## 1 デジタル技術で歯科が変わる！ —銀歯から白い歯へ—

受講料 無料 6月8日(土) 13:30~15:30

会場 本学札幌サテライトキャンパス  
札幌市中央区北4条西5丁目  
アステイ45 12F

定員 100名

医療×地域×健康講座①  
道民カレッジ連携講座 主I

講師 疋田 一洋  
本学歯学部教授

今、歯科診療では大きな変革が起きています。これまで、手作業で作っていた歯のかぶせものが、機械加工で作られるようになり、金属ではなく白い歯が保険治療でも行えるようになってきました。この大きな流れをご説明致します。

## 2 子育て家族のためのホームケア① —乳幼児の病気と自宅で行えるホームケアのポイント—

受講料 無料 6月13日(日) 10:00~12:00

会場 地域包括ケアセンター  
札幌市北区あいの里2条6丁目

定員 6組(乳幼児と保護者)  
対象:乳幼児とその保護者および妊婦、子育てを支援している祖父母

地域包括ケアセンター共催講座④ 共-3

講師 加藤 依子  
本学看護福祉学部講師

子どもは体調が悪くなると不機嫌になり、保護者の方々は不安になります。今回は、子どもの発熱・嘔吐・下痢・皮膚トラブルと、ホームケアのポイントについて考えてみたいと思います。

## 3 子育て家族のためのホームケア② —生まれてくる赤ちゃんのためのスキンケア教室—

受講料 無料 6月20日(日) 10:00~12:00

会場 地域包括ケアセンター  
札幌市北区あいの里2条6丁目

定員 3組

地域包括ケアセンター共催講座⑤ 共-3

講師 川崎 ゆかり  
本学看護福祉学部助教

赤ちゃんのお肌は、お手入れをしなくても、しっとりしていると思いませんか？お肌のトラブルがでてきて困ってしまう前に、妊婦さんへ赤ちゃんのお肌についてお伝えし、お手入れを一緒に実践してみたいと思います。

## 4 災害時における薬剤師の活用法

受講料 無料 6月22日(土) 13:30~15:30

会場 本学札幌サテライトキャンパス  
札幌市中央区北4条西5丁目  
アステイ45 12F

定員 100名

医療×地域×健康講座②  
道民カレッジ連携講座 主I

講師 櫻田 渉  
本学薬学部講師

近年、日本の観測史上最大規模の地震や自然災害が続いております。医療チームが被災者の救援に駆けつけ、その医療チームに薬剤師がいたことはあまり知られておりません。東日本大震災時、薬剤師として救援活動をした経験を踏まえご説明致します。

## 5 ストレスに対する関わり方の工夫とコツ

受講料 無料 7月13日(土) 13:30~15:30

会場 本学札幌サテライトキャンパス  
札幌市中央区北4条西5丁目  
アステイ45 12F

定員 100名

医療×地域×健康講座③  
道民カレッジ連携講座 主I

講師 本谷 亮  
本学心理科学部准教授

ストレスに対して上手に関わり、その影響を減らすためのポイントと日常生活で実践するコツについて、具体例をあげながらわかりやすくお伝えします。講演では、簡単な体験型の演習も交えながら解説します。

### 講師紹介

▶疋田 一洋(ひきた かずひろ)  
1961年生まれ。北海道大学大学院歯学専攻科修了。北海道大学歯学部助手、北海道医療大学医療科学センター講師、北海道医療大学個別差医療科学センター准教授を経て、15年より現職。CAD/CAM技術の歯科臨床への応用、CAD/CAM冠の保険導入につながる先進医療を行い、現在もCAD/CAM冠のための機器・材料を研究。最近、北海道医療大学病院でスポーツ歯科外来を立ち上げ、CAD/CAM技術を応用したスポーツマウスガードの製作に関する研究も行う。日本補綴歯科学会専門医、認定医。  
○専門研究分野/歯科補綴学、デジタル歯科学、スポーツ歯科

▶加藤 依子(かとう よりこ)  
高知女子大学(現:高知県立大学)KKR札幌医療センター小児アレルギーセンターを経て、14年より現職。社会貢献活動は、乳幼児期に多い疾患に対するホームケアのポイントや、アトピー性皮膚炎に移行させないための子どものスキンケアについて、子育て中の保護者や育児を支援する立場の方々を対象に、セミナーを行っています。また、北海道医療大学病院小児科外来において、看護相談を担当し、子育て支援に取り組んでいます。地域包括ケアセンター教育事業では、小児看護に携わる看護職対象の小児看護に関するスキルアップ講座を行っています。研究においては、アレルギー疾患の子どもを育てる親への支援について検討しています。小児看護専門看護師。  
○専門研究分野/アレルギー疾患の子どもを育てる親への支援

▶川崎 ゆかり(かわさき ゆかり)  
北海道医療大学看護福祉学部看護学科卒業後、小児科病棟で勤務し、10年より現職。小児看護や子どもの育児に関することについて、研究を進めています。  
○専門研究分野/小児看護学

▶櫻田 渉(さくらだ わたる)  
1967年生まれ。98年有限会社浦河ファーマシー設立代表取締役、02年株式会社ファーマホールディング開発事業部部長、04年株式会社ハイクリップス開発事業部部長、05年株式会社エールメディック取締役を経て、09年より現職。専門は、社会における薬局の役割および災害医療に関する研究、簡易感濁法施行後の医薬品からの薬物溶出性に関する研究。

▶本谷 亮(もとや りょう)  
1980年生まれ。北海道医療大学大学院心理科学研究科臨床心理学専攻博士後期課程修了。博士(臨床心理学)。北海道医療大学卒業。福島県立医科大学医療人育成・支援センター助手、助教を経て、16年に本学心理科学部講師。17年9月より現職。こころと身体に関連に関心があり、そのメカニズムの解明や効果的な心理的支援について検討しています。その中でも特に、「痛み」が私の専門分野です。臨床心理士、認定行動療法士、公認心理師。  
著書に「運動器の痛みをとる・やわらげる」、「60のケースから学ぶ認知行動療法」、「jmed33 あなたも名医!患者さんを苦しめる慢性痛にアタック!慢性の痛みとの上手な付き合い方」、「首腰ひざのいい病院2016」  
○専門研究分野/心身医学、認知行動療法

## 6 肩こりに対する運動療法

受講料 無料 7月20日(土) 15:30~17:00

会場 地域包括ケアセンター  
札幌市北区あいの里2条6丁目

定員 50名

地域連携セミナー(あいの里)①  
道民カレッジ連携講座 主II-5

講師 青木 光広  
本学リハビリテーション科学部教授

山根 将弘  
北海道医療大学病院  
理学療法士

片岡 義明  
北海道医療大学病院  
理学療法士

河治 勇人  
北海道医療大学病院  
理学療法士

現代社会において多くの人が肩こりを経験します。肩こりが生じるメカニズムと肩こりに対する運動療法についての講演を行い、実際に運動を体験して頂きます。

## 7 あなたの体は健康ですか? —健康チェックと毎日簡単なび体操—

受講料 無料 8月3日(土) 15:30~17:00

会場 地域包括ケアセンター  
札幌市北区あいの里2条6丁目

定員 50名

地域連携セミナー(あいの里)②  
道民カレッジ連携講座 主II-5

講師 青木 光広  
本学リハビリテーション科学部教授

山根 将弘  
北海道医療大学病院  
理学療法士

片岡 義明  
北海道医療大学病院  
理学療法士

河治 勇人  
北海道医療大学病院  
理学療法士

誰もがいくつになっても健康に暮らせることを望むと思います。そのために皆様の運動能力をチェックし、健康を維持するために毎日できる簡単なび体操を紹介します。

## 8 加齢に伴う耳の聞こえの変化と補聴器の話

受講料 無料 8月3日(土) 13:30~15:30

会場 本学札幌サテライトキャンパス  
札幌市中央区北4条西5丁目  
アステイ45 12F

定員 100名

医療×地域×健康講座④  
道民カレッジ連携講座 主I

講師 前田 秀彦  
本学リハビリテーション科学部講師

加齢に伴う難聴について、近年発表された研究結果を紹介しながら、分かりやすくお話しします。また、補聴器の基本的な事柄や補聴器の限界などについてもお話しいたします。

## 9 臨床検査とどのように付き合うか —異常値の意味とは?—

受講料 無料 8月10日(土) 13:30~15:30

会場 本学札幌サテライトキャンパス  
札幌市中央区北4条西5丁目  
アステイ45 12F

定員 100名

医療×地域×健康講座⑤  
道民カレッジ連携講座 主I

講師 幸村 近  
本学医療技術学部  
学部長

健康診断で得られた臨床検査の数値にはどんな意味があるのでしょうか? 異常値と言われたときの考え方、対処の方法について解説します。

### 講師紹介

▶青木 光広(あおき みつひろ)  
1954年生まれ。79年札幌医科大学医学部卒業、98年札幌医科大学整形外科講師、99年札幌医科大学保健医療学部理学療法学科准教授を経て、14年より現職。機能解剖学教育指導、バイオメカニクス研究指導、著書「モーション解剖アトラス」。  
○専門研究分野/整形外科学、リハビリテーション医学、臨床バイオメカニクス、スポーツ医学

▶山根 将弘(やまね まさひろ)  
1985年生まれ。08年札幌医科大学保健医療学部理学療法学科卒業、08年社会医療法人孝仁会札幌第一病院を経て、15年より現職。18年本学リハビリテーション科学研究科博士前期課程修了。札幌市少年野球検診、北海道マラソン救護支援を務める。  
○専門研究分野/リハビリテーション科学研究、筋電図研究、投球障害

▶片岡 義明(かたおか よしあき)  
1987年生まれ。09年北海道大学医学部保健科学理学療法専攻卒業、社会医療法人孝仁会札幌第一病院を経て18年より現職。岩見沢市健康講座講師、エロンゲーショントレーニング指導者。  
○専門研究分野/リハビリテーション科学研究、動作解析、高齢者介護予防

▶河治 勇人(かわは じやと)  
1989年生まれ。12年札幌医科大学保健医療学部理学療法学科卒業、12年医療法人社団高橋整形外科クリニックを経て、16年より現職。17年本学リハビリテーション科学研究科博士前期課程修了。札幌市少年野球検診、北海道マラソン救護支援を務める。  
○専門研究分野/リハビリテーション科学研究、動作解析、変形性膝関節症

▶前田 秀彦(まえだ ひでひこ)  
1970年生まれ。北海道医療大学大学院心理科学研究科言語聴覚研究科博士前期課程修了(言語聴覚学修士)。  
北海道医療大学リハビリテーション科学部修士(言語聴覚学)、北海道大学医療技術短期大学部衛生技術学科卒業。北海道医療大学大学院博士前期課程修了。岩手県立大学大学院社会福祉研究科博士後期課程在学中。臨床検査技師、言語聴覚士。奈良井町立国民健康保険病院(奈良井町)、医療法人耳鼻咽喉科麻生病院(札幌市)、北海道医療大学心理科学部言語聴覚学専攻科講師を経て現職。  
○専門研究分野/聴覚障害学(特にCE-Chirp音による聴性誘発反応を用いた聴覚的聴力評価法)

▶幸村 近(こうむら ちかし)  
1959年生まれ。旭川医科大学医学部医学専攻卒業、旭川医大第一内科、同附属病院検査部、市立旭川病院循環器内科・中央検査科を経て18年より現職。医学博士、臨床検査専門医、総合内科専門医、循環器専門医。内科臨床医としての経験と臨床検査専門医の立場から臨床検査の正しい利用法を解説。  
○専門研究分野/臨床検査医学、内科学